

# 宮城県病害虫防除所 要 覧



## 病害虫防除所の役割

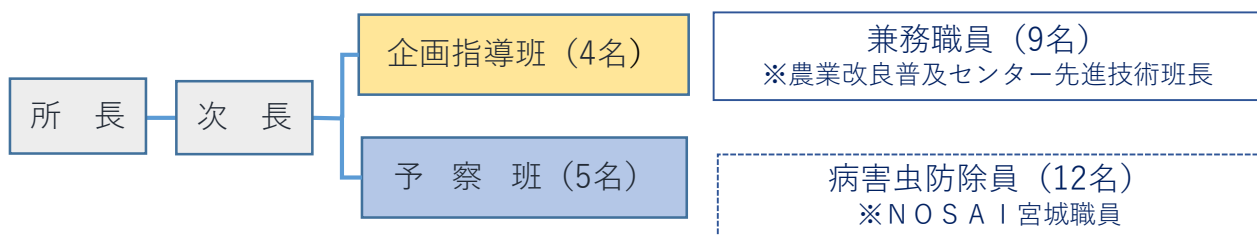
「消費者が求める安全・安心な食料の安定供給」を進めるため、「植物防疫法」と「農薬取締法」に基づき次の役割を担います。

- 病害虫の発生動向を調査し、防除を要する病害虫や防除対策等の情報の提供
- 海外からの病害虫の侵入を早期に発見し被害の拡大を防止
- 正しい知識の啓発・指導による農薬の安全かつ適正な管理・使用の推進

## 沿 革

昭和27年 7月	県内12か所（地方事務所に併設）に病害虫防除所が設置
昭和30年11月	地方事務所の廃止に伴い農業改良事務所に併設
昭和55年 4月	県内6か所（大河原、仙台、古川、築館、迫、石巻）に統合整備
昭和62年 4月	機構改革により宮城県病害虫防除所（仙台市宮城野区安養寺）に統合
平成元年10月	宮城県仙台合同庁舎（仙台市青葉区堤通雨宮町）に移転

## 組 織



職員数11名，兼務職員9名

〒981-0914 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号（宮城県仙台合同庁舎6階）  
TEL (企画指導班) 022-275-8960 (予察班) 022-275-8982  
FAX 022-276-0429 E-mail byogai@pref.miyagi.lg.jp  
URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/>



（令和5年8月作成）

# 主な業務



## 発生予察情報の提供

・効率的な病虫害防除に役立てるため、主要な病虫害の発生を定期的に調査し、発生状況や気象予報などから病虫害の発生時期や発生量を予測した発生予察情報を当所のホームページで発表しています。

### ○有害動植物発生予察事業

- ・対象病虫害：135種
- ・対象作物：13作物（水稻・麦類・大豆・りんご・なし・うめ・きゅうり・トマト・なす・ねぎ・ほうれんそう・いちご・きく）
- ・予察情報の提供：発生予報（年16回）、警報（大発生が予想される時）、注意報（多発生が予想される時）、特殊報（新たな病虫害の発生が認められた時）、防除情報（早めの防除措置が必要な時など）



## 県内への病虫害の侵入警戒

・人やモノの移動の増加で、病虫害の侵入リスクが増加しています。国内未発生又は国内の一部のみに発生している重要病虫害の県内への侵入を早期に発見し、速やかに的確な防除につなげるため、国と協力して、警戒調査を実施しています。

### ○侵入調査

- ・対象病虫害：8品目22種（コドリングガ、トマトキバガ、テンサイシストセンチュウ、火傷病、ウメ輪紋ウイルス、スイカ果実汚斑細菌病、など）



## 適正な農薬使用の推進

・農薬使用者や農薬販売者に対して研修会や検査等を通して適正な農薬使用と管理の支援を行っています。

### ○農薬適正使用推進事業

- ・農薬販売の届出の受理（卸売業、広域小売業）
- ・適正な農薬使用・管理の指導（農薬指導取締検査：卸小売業、ゴルフ場）
- ・農薬に対する正しい知識の啓発（農薬の適正使用や防除に関する研修会年間数回程度）



トマトキバガ  
(フェロモントラップ粘着板)



イネいもち病(葉いもち)



ナシ黒星病



アカスジカスミカメ